

## 大船渡市大船渡地区民生委員児童委員協議会

(平成 25 年 5 月 17 日掲載記事)

### (1) 大船渡地区の現在の様子

大船渡地区は、震災により中心部が壊滅し、人口は震災前の 9,948 名(2011 年 2 月末現在)から 8,830 名(2013 年 3 月末現在)に減少しました。仮設住宅は 6 か所に 357 戸(4 月現在)あり、災害公営住宅は 2 か所(30 戸)が完成し、入居募集中ですが、まだまだ足りない状況です。

震災前、この地区は 28 行政区で構成されており、民生委員・児童委員 25 名(うち主任児童委員 2 名)が担当をしていました。震災後は、仮設住宅の関係で 3 行政区増えましたが、委員定数はそのまま活動しています。あの大震災から 2 年が経過し、大船渡地区民児協の活動も震災以前の状況に戻りつつあります。

### (2) 震災時の様子

震災発生直後は、委員自身の家族はもちろん、地域住民の安否確認等も大変な状況のなか、4 日後にようやく委員全員が無事であることが判明しました。

委員 25 名中 13 名の家屋は全流失の被害を受け、特に 4 地域では全世帯流失という状況でした。

ある委員は、大きい地震の揺れを感じ、これは必ず津波が来ると思って各世帯に大声で避難を叫びながら回ったものの、「50 年前のチリ地震の際にここまでは津波が来なかったから大丈夫」と避難しない人々がたくさんいたと言います。

「必ず津波が来るから」と地域内を 3 回も回って避難を呼びかけ、最後は自分も津波に追いかけられながら、やっとの思いで高台に避難したそうです。それでも、多くの犠牲者が出てしまったことは大変悔やまれます。



(2011 年 4 月 11 日) 津波で漁協の事務所の上に打ち上げられた漁船



(2011 年 4 月 25 日) 津波にも負けずに花を咲かせた桜  
(現在は切り倒されてありません)

### (3) 現在の民児協活動

大船渡地区では、13名の委員が被災し、それぞれ他地区に自宅を新築したり、仮設住宅等で生活するなど、他地域から見守り活動を行なっている状況です。全世帯が流失し、地域公民館が解散した4地域については、今後、土地のかさ上げをして商業地域とし、住宅地にはならないと聞いています。現在は離れた地区で生活している住民が定期的集まる機会に委員も参加し、地域の皆さんの現況確認等を行なう手助けをしています。

復興にはまだまだ時間がかかるとは思いますが、震災を風化させず、住民一人ひとりが安心して生活することができるように活動を続けたいと思います。

おわりに、震災後、全国の民生委員・児童委員の皆さまから多大なるご支援等をいただき、大変感謝しております。